

社会科「情報社会に生きるわたしたち」

出前授業「神戸新聞社」～感想～

もし、新聞がなくなったら地震がおきたときとかお風呂がはいるところやトイレが使えるはずとかが分からなくなってしまうから情報はたじたとおっしゃいました。じしんのこわさを自分たちが次おんなに伝えなきゃいけないななと思いました。新聞にたせつなのはいつ、どこでたれがなにをなぜとどのようなかたせつなのかわかりました。 名倉小学校 5年

社会科「情報社会に生きるわたしたち」

出前授業「神戸新聞社」～感想～

きのうの授業で5W1Hはニュースで必ず入れるということを知りました。そして、阪神・淡路大震災で神戸新聞社で新聞が作れなくなっても他の新聞社にたかかしてもらうぐらい情報をとどけたかたんだと思います。神戸新聞社をあわせて他の新聞社がいくつかあるのか気になりました。 名倉小学校 5年

社会科「情報社会に生きるわたしたち」

出前授業「神戸新聞社」～感想～

新聞はいろいろな人がかかっていることが分かったから、おばあちゃん家で新聞を取っているからその新聞を読もうと思いました。
新聞で使われている写真もいろいろな取り方をしていることを知ったけど、どんな人が新聞記者になれるのかが気になりました。でも、新聞記者のま好さんの話で一番心に残ったことは、「どこで、たれが、なにを、なぜ、どのように」を新聞を作る時に大切にしているということです。理由はSWIHを使うことで、たくさん人の情報を伝えていることが分かったからです。

名倉小学校 5年

社会科「情報社会に生きるわたしたち」

出前授業「神戸新聞社」～感想～

最初によく分からなかったけど、出前授業で色々なことがわかりました。SWIHの2となどいって、どこで、たれが、なにを、なぜ、どのようにか、写真の撮り方も目立たせたいものを真ん中にすればいい。と思っていたけど、すごくかわっていることがわかりました。三角構図の撮り方は対角線構図の撮り方、インタビューした人を撮ると表は表じょうか、かたくならないように話しながら、動きがあるように撮るといいなど。この勉強はこれから記者になるおなごのため、この出前授業で勉強したことはいかにインタビューしたいかと思っています。

名倉小学校 5年

社会科「情報社会に生きるわたしたち」

出前授業「神戸新聞社」～感想～

新聞記者のことを改めて情報を毎日書くことで
世界に発信するというその行動でぼくたちは動
いて情報を毎日しているということはすごいな
と思いました。なのでニュースなどを見て知るとき
このことを思いだしながらSWITHがほんとはすべて
のニュースでできているのを見えます。

名倉小学校 5年

社会科「情報社会に生きるわたしたち」

出前授業「神戸新聞社」～感想～

わたしは、授業を受けてSWITHとわがわが(when)
どこで(where)だれが(who)なにを(what)
なぜ(why)どのように(How)のニュースの基本がある
ことがわかった。あと、写真の撮り方にも人の動きのある時
に連写するなどの工夫があることがわかった。

名倉小学校 5年

社会科「情報社会に生きるわたしたち」

出前授業「神戸新聞社」～感想～

出前授業でわかったことは、新聞は大切な物ということがわかりました。新聞がなくなってしまうと大事な情報がわからなくなってしまうので、これからは、新聞を時間がある時に読んでみたいと思います。そして新聞のとくちょうを見たいです。

名倉小学校 5年

社会科「情報社会に生きるわたしたち」

出前授業「神戸新聞社」～感想～

今までは新聞の事については何にも知らなかったけど、こんかいの出前授業で新聞は見たしをつけてしょううな事は、そのきいを大きくしたり上の方においたりしたら……と分かりました。新聞ができるまでにゆ材、ん集会議をするのが大へんで苦労していると分かりました。

名倉小学校 5年